

指定管理者自己評価結果

【評価対象年度】 令和 4年度

1 総則

指定管理者	シンコースポーツ株式会社
事業期間	令和 4年 4月 1日 ~ 令和 5年 3月 31日
管理体制	職員 3名 ・総括責任者 1名 ・職員 2名 (内1名 図書司書 有資格者) 臨時 ・1階事務室 5名 ・2階図書室 7名 (内3名 図書司書 有資格者) ・清掃 6名 (内1名 外部委託) ・警備員 3名 (外部委託) ・舞台技術管理常駐者 1名 (外部委託) ・設備環境衛生管理技術者 1名 (外部委託) ・電気主任 1名 (外部委託)
職員の勤務状況	職員 ・シフト制 (2交代制) 臨時 ・シフト制 (時間勤務)

2 施設のサービス水準

(1) 事業達成度の分析・評価

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
運営業務	開館日・時間	貸館業務 午前8時45分～午後9時 図書業務 1) 平日(土曜日含む) 午前10時～午後9時 2) 日曜日・祝日 午前10時～午後5時	条例・規則、協定書に基づき実施(休館日については、木曜日が祝日にあたるその翌日を休館のところで、開館する。)	条例・規則、協定書に基づき実施(休館日については、木曜日が祝日にあたるその翌日を休館のところで、開館する。)
	受付・案内	施設の管理運営に支障がないように配慮するとともに、利用者の要望に応えられる体制とする。	施設の管理運営に支障がないように配慮するとともに、利用者の要望に応えられる体制とする。	施設利用者のニーズに合わせて対応 ・貸館抽選方法を毎日から1箇月単位へ変更 ・図書室は漫画の設置を行い利用者対応
	料金設定	条例・規則により規定	条例・規則により規定	条例・規則により規定
	広報・宣伝	チラシ等を作成して近隣施設に配布し、利用促進を図るとともに、類似する公共施設のポスター掲示PRの相互協力、ホームページの維持管理、作成業務等 管理運営業務仕様書に示された内容	チラシ・ポスターの作成とFMハナコの出演等告知を増やした。また、ローソンチケット・イープラス等を使用し販売した。	施設情報をホームページ並びにSNSを活用し利用促進を図った。 近隣施設、FMはなこ出演、及び、北河内6市内の文化施設と連携し情報配信の機会を増やした。 また、現在利用されている団体の情報配信の場を設け利用促進につなげた。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
施設維持管理業務	清掃・保守点検	基本協定書(以下「協定書」と記載)及び管理運営業務仕様書(以下「仕様書」と記載)に示された内容	仕様書に基づき実施。点検の結果、修繕を要するものは市と協議し、施設の適切な維持管理に努めた。	業務仕様書のとおりに実施した。大規模修繕を要するものは市に報告し、適切な維持管理に努めた。
	修繕	協定書及び仕様書に示された内容	20件 金額: 3, 263千円	施設全体の老朽化による大規模修繕、改修工事が必要。 (1階事務室内空調 ホール吊物装置 他)

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
施設利用等許可業務	利用者数	仕様書に特に規定なし	エナジーホール 54,852 リハーサル室 19,344 楽屋1 24,927 楽屋2□ 16,400 楽屋3 14,060 楽屋4 13,061 和室(地階) 8,217 研修室 23,799 会議室1 5,239 会議室2 12,010 和室(3階) 3,199 工芸室 6,623 音楽室1 10,678 音楽室2 12,119 音楽室3 6,674 ギャラリー 4,004 合 計□ 235,206	今年度は、通常営業に戻り 昨年度より多い人数の利用 となった。
			貸出件数 18,605名 貸出冊数 56,137冊 視聴覚資料 527名	通常運営になり、貸出件数・ 冊数共に昨年度より大きく上 回った。 昨年度 貸出件数約 3,000件増 貸出冊数約10,000冊増
	利用料金	収入目標 40, 500千円	収入 38, 175千円	
	利用率	仕様書に特に規定なし	エナジーホール 40.40% リハーサル室 46.67% 楽屋1 33.76% 楽屋2 20.19% 楽屋3 28.74% 楽屋4 14.53% 和室(地階) 33.58% 研修室 42.70% 会議室1 45.19% 会議室2 45.62% 和室(3階) 29.73% 工芸室 29.33% 音楽室1 10.07% 音楽室2 12.05% 音楽室3 7.98% ギャラリー 42.95% 合 計 22.37%	昨年度よりホール関係の利 用率は15%ほど減少したが その他の諸室では平均10% 程度上回った。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業	文化教室	生涯学習支援事業	ジャズダンス(月・水) 各15名 フラダンス(月)20名 音楽ソルフェージュ(火) 10名 陶芸(火・水) 20名 バレエエクササイズ(水) 15名 箏曲(土)10名	1年通して実施。音楽ソルフェージュ教室については、10月から開講した。広報強化を行い少しではあるが受講者数が増えた。
	・陶芸体験 ・陶芸展示会 ・映画上映会 ・ピアノレッスンパック ・ハンドメイドワークショップ ・文化教室発表会	生涯学習支援事業	・陶芸体験11名 ・陶芸展示会100名 ・映画上映会 717名 ・ピアノレッスンパック 245件 ・ハンドメイド 11名 ・文化教室発表会 200名	ウクライナ人道危機支援で映画ひまわりの上映を行い、当日は募金活動など実施。ピアノレッスンパックは200件を超える利用があった。その他多くの老若男女の方々にご来館いただいた。
	・生活筋力向上プログラム ・気功体操 ・シニアの英会話体験 ・健康フェア ・姿勢分析からはじめるトレーニング	健康福祉推進事業	・生活筋力 4名 ・気功体操 42名 ・シニア英会話 13名 ・健康フェア 400名 ・姿勢分析 4名	外部団体と協力し、シニアに向けた英会話体験や健康フェアを行いカラダの活性化を実施。
	・おはなし会 ・ブックカバー&しおり作成 ・沖縄伝統 エイサー体験 ・沖縄伝統 エイサー親子体験 ・落語VR体験 ・虫の昆虫展	子ども未来支援事業	・おはなし会 25名 ・ブックカバー 40名 ・エイサー体験 19名 ・エイサー親子 8名 ・落語VR 43名 ・虫の昆虫展 120名	今年度初んp試みとして日程を決めずによみきかせ会を実施した。子供が多く集まる時間にスタッフによるよみきかせを行い、子供たちが本に興味を示す機会を提供。あまり触れることのない、エイサー体験を行い、全国のお祭りに触れる機会を提供
	・ピアノリレーコンサート ・スマホ体験教室 ・京阪フレッシュアーティストコンサート	市民協働事業	・ピアノリレー 150名 ・スマホ体験 9名 ・京阪フレッシュ 400名	北河内6市協働によるコンサート等を実施。京阪沿線で活躍中のアーティスト招きコンサートを実施し、多くの方よりまた来たいというお声をたくさん頂戴した。
	・和楽器演奏コンサート ・お笑い・絶品モノマネライブ ・大衆演劇近江飛龍劇団 ・北海道歌旅座コンサート	その他事業	・和楽器演奏 450名 ・お笑い・モノマネ 200名 大衆演劇 180名 ・北海道歌旅座 119名	毎年恒例イベントから初のイベントを実施し、施設の認知に繋がった。遠くからお越しの方も多く、継続希望のお声が多かった。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
その他業務	職員研修	仕様書に基づき、各種研修の実施	令和4年度改正の個人情報保護法やワークスタイル・メンタルヘルスに接遇研修を実施	様々な研修を実施し、1人1人のレベル向上につなげた。また、向上することによって利用者への積極的な鼓動やご案内が可能になった
	個人情報保護	定書及び仕様書に基づき、個人情報保護に適正な管理を行うために必要な措置を講じる	改正された保護法の研修を実施。	書類の扱い方や保管方法を職員全体で意見を出し合い、漏洩や注意事項を共有し徹底した。
	情報公開	協定書及び仕様書に基づき、情報の公開について必要な措置を講じる。	日頃からわかりやすく丁寧な対応を目指し、情報を隠すことなく提供した	周知事項などは公開し利用者に把握していただくことができた。
	事故等への対応	適切な措置を講じ、委員会、関係機関に通報	数件救急車要請はあったが搬送された型全員が回復し通常の生活に戻られた。	AEDの操作研修や蘇生法等の研修を行った結果、傷病人が出た際に適切な対応ができた。

事業達成度評価 コメント	事業達成度評価
今年度は、臨時休館・短縮営業もなく通常営業することができた。自主事業も多く開催できたことにより施設の周知ができ利用者数を増やすことができた。 また、図書室も貸出件数・冊数や予約等全体的に増やすことができ、アンケートでは満足度が高かった。 課題として広報に強化し、来年度に繋げたい。 今年度は、抽選方法の変更を行ったが大きな問題もなく運営ができた。	A

2 施設のサービス水準

(2) 利用者満足度の分析・評価

利用者アンケート調査の結果	項目	協定事項等	分析
	実施方法 回答者数	・調査期間 ①貸館②図書室 令和4年6月～令和5年3月 ・実施方法 ①利用者へ触接依頼・ホームページ掲載 ②受付カウンターにて依頼・ホームページ掲載 ①②ともに回収ボックス設置 ・回答者数 ① 75名 ② 80名	
	年齢	①貸館 ・10代 8% ・20代 4% ・30代 7% ・40代 11% ・50代 29% ・60代 15% ・70代以上 25% ②図書 ・10代 0% ・20代 3% ・30代 9% ・40代 11% ・50代 14% ・60代 20% ・70代以上 43%	①貸館 昨年同様に、50代以上の方からの回答が多い ②図書 70代以上の方が約半数。若年層は少ないが 自習コーナー利用者からの回答が多かった
	利用頻度	①貸館：ほぼ毎日1% ・週1-2回48% 週3-4回3% ・2週に1回21% 月1回程度11%・年に数回15% 初めて1% ②図書：ほぼ毎日0% ・週1-2回30% 週3-4回5% ・2週に1回48% 月1回程度13%・年に数回5% 初めて0%	①貸館 週1-2回と回答された方が前年度より18%多くなった。 ②図書 図書貸出期間が14日のため「2週に1回」と回答が多い。
	利用時間帯 滞在時間	利用時間帯 ①貸館：午前37%・午後27%・夜間45% 滞在時間 ②図書：30分未満50%・30分-1時間38% 1-2時間10%・3時間以上0%	①貸館 夜間予約が多く増えたと考えられる。 ②図書 資料の受取りのために来室が多く見受けられる。インターネット予約が多い傾向

	利用内容	①貸館 ・個人 4% ・教室参加 61% ・団体 33% ②図書 ・資料貸出 63% ・資料を読む 14% ・予約・リクエスト13% ・自習利用 5% ・調べもの 3% ・スタッフへの質問 3%	①貸館 今回の回収は教室参加者からが多い。 前年度同様個人での利用が少ない。 ②図書 資料の貸出が90%を占めている。 インターネットからの予約、相互貸借件数が多い傾向にある
	満足度	①貸館 施設備品・予約方法・アクセス・利用料金 ・スタッフの対応等多くの方が「満足」 「やや満足」を選択 ②図書 室内設備・案内表示・探しやすさ・予約 ・対応について「普通」から「満足」を選択	①貸館 多くの方が満足していただいた中で、トイレ設備に対して「不満」と回答された方が多い。 ②図書 スタッフ対応・予約に対して「満足」が多いが、その他の項目で「普通」と回答が多い。案内表示や探しやすさに工夫が必要。

市民からの意見・要望等	主な意見・要望等	対応状況等(記載事項は守口市に連絡済です)
	貸館 1.トイレの様式化 2.温度調整 3.利用料金の支払方法 4.Wi-Fi環境	1.守口市と協議中と説明 2.温度調整は、館全体設定。各所室毎の設定は難しい。 3.利用料金については、振込対応はしているが手数料は先方負担と伝えている。 4.1階ロビーに無料スポット設置(時間制限あり)
	図書 1.自習コーナーの利用 2.貸出期間 3.返却ポストの設置 4.資料の充実	1.自習コーナーを自由に使用したいとありますが、席数が少なくリョウシャカード提示をお願いしている。 2.継続貸出や再貸出を説明。 3.閉室時は1階事務室にて対応可能と説明 4.予算の都合上難しいため、寄贈資料などで対応

利用者満足度評価 コメント
昨年同様にトイレに関する要望や不満が多く見受けられたが、次年度改修があるため満足値が上がると予想しています。今年度は感染予防のため規制があったが前年度から継続しているイベントや初開催の事業などを実施したことにより満足度が多くなりました。貸館・図書ともに予約システムの浸透し、手順が削減できているように感じました。 また、貸館1年前抽選を月単位に変更した結果、利用者・スタッフともに負担が少なくなり取り組みの成果が出たと感じています。次年度も満足度を高められるような取り組みや研修を行いたいと思います。

2 施設のサービス水準

(2) 収支状況の分析・評価

【収入の部】

大項目	小項目	予算額	実績額	実績－予算	備考
委託料		37,300,000	37,300,000	0	
利用料金等	施設利用料	40,750,000	38,174,504	-2,575,496	
	事業収入	13,000,000	9,468,849	-3,531,151	
	雑入	160,000	963,600	803,600	FMハナコ
収入合計		91,210,000	85,906,953	-5,303,047	

【支出の部】

大項目	小項目	予算額	実績額	予算－実績	備考
人件費	給与費	31,638,000	32,867,191	-1,229,191	
	福利厚生費				
	法定福利費				
	賃金等				
事務費	印刷費	50,000	109,898	-59,898	印刷代
	通信費	318,000	440,045	-122,045	電話、郵送等
	保険料	111,000	93,869	17,131	
	事務用品費	900,000	1,638,457	-738,457	消耗品等
	旅費交通費	0	0	0	
	図書購入費	1,170,000	1,174,999	-4,999	
	雑費	0	2,132,039	-2,132,039	
管理費	業務委託費	22,600,000	25,499,650	-2,899,650	設備、警備等
	光熱水費	11,600,000	16,466,975	-4,866,975	
	修繕費	3,500,000	3,263,150	236,850	
	管理費	0	7,694,400	-7,694,400	
物件費	備品購入費	0		0	
事業費	事業費	5,120,000	16,516,452	-11,396,452	自主事業費等
公租公課	租税公課	4,203,000	4,383,000	-180,000	
支出合計		81,210,000	112,280,125	-31,070,125	

収支(実績ベース)

85906953	—	112,280,125	=	-26373172
----------	---	-------------	---	-----------

収支状況 コメント
新型コロナウイルスの影響は、予測していたよりも大きく活動を自粛される団体や利用者が多かった。自主事業イベント、教室においても同様。 光熱水費については、LED投資で省エネを行い使用量を圧縮したが、電気ガスの異常な単価上昇により予算を大きく超過した。光熱水費についての協議を行うも補填は、無し。令和5年度大幅にコストをカットする運営を行う。